



にじ はし 虹のかけ橋

令和4年11月18日

第 25 号

発行 校長

第2回学校運営協議会 開催される

10月29日（土）学習発表会終了後に開催されました。今回は、半年を経過しての学校の状況や子どもたちの様子などについて協議しました。委員の皆様からは、学習発表会での子どもたちの頑張りや、日々の取り組みについてお褒めの言葉をいただきました。その他にも、学力の定着、学校・学級経営について幅広くご意見をいただきました。いただいたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。



岩谷小のあいさつ名人は？

児童会の運営委員のみなさんが、あいさつ名人を紹介してくれました。各クラスの名人第1位に認定された皆さんをお知らせします。次回はどうかかなあ？

1年

*****さん
*****さん
*****さん

4年

*****さん

5年

*****さん

2年

*****さん
*****さん
*****さん
*****さん
*****さん

6年

*****さん

3年

*****さん
*****さん

さつき・ひまわり
*****さん



～避難訓練Ⅱ～ いざという時にも慌てずに！

11月1日（火）に実施しました。長休みの時間に、3階家庭科室より出火したという想定で行いました。休み時間ということで、子どもたちは体育館やグラウンドなど思い思いの場所で過ごしておりましたが、非常ベルが鳴るとその場で待機し、緊急放送の指示に従って避難することができました。

授業中であれば、担任が誘導して避難することができますが、火事や地震が休み時間に起きた場合には、自分一人の判断で避難しなければなりません。それが「自分の命は自分で守る」ということですので、訓練であっても真剣にやらないといけなのです。

おさない はしらない



しゃべらない もどらない



「防寒具の着用」をお願いします！

朝晩とめっきり寒くなりました。ついこの間までTシャツに短パンで過ごせたのに…。教室内はストーブが稼働していますが、換気のために肌寒く感じる席もあるようです。登下校の際にも、厚手のジャンパー、手ぶくろ、帽子（耳当て）、マフラーなどの着用をオススメします。



青少年育成由利本荘市民会議主催
青少年健全育成「標語コンクール」

小学校の部 入選 ****さん（6年）

「やさしさは 一人一人の心から」

おめでとうございます。



pixta.jp - 43995903

OHCの最近の傾向から見えること

週に1度、子どもたちの家での生活の様子をOHCで記入してもらっています。すると、「ゲームやメディアの利用時間が長い子が少なくない」ということに気が付きます。中には、睡眠時間を削ってまでゲーム等に夢中になっている子もいるようです。全国的なこの傾向について、国立病院機構久里浜医療センター院長の樋口進先生は、「ゲーム障害」の心配を指摘しております。以下は先生の研究からの抜粋です。

●ゲーム障害の兆候とは

ゲーム障害は誰にでも起こる可能性がある病気です。そのため、ゲーム障害の兆候を知り、早めに気付くことが大切です。下記が、ゲーム障害の8つの兆候です。

- ① ゲームをする時間がかなり長くなった
- ② 夜中までゲーム続ける
- ③ 朝起きられない
- ④ 絶えずゲームのことを気にしている
- ⑤ ほかにことに興味を示さない
- ⑥ ゲームのことを注意すると激しく怒る
- ⑦ 使用時間や内容などについて嘘（うそ）をつく
- ⑧ ゲームへの課金が多い



これらの兆候が見受けられる場合は、まず注意することが大切です。注意をすることで、ゲームの時間が減ったり、やめることができたりすれば、あまり問題はありません。しかし、注意してもゲームをする時間が減らない場合は、ゲーム障害が疑われます。

●ゲーム障害の診断

診断にあたっては問診で次の4つの症状を確認します。

- ① ゲームをする時間をコントロールができない。
- ② ほかに生活上の関心事や日常の活動よりゲームを優先する。
- ③ ゲームによって問題が起きているにもかかわらずゲームを続ける。
- ④ 学業や仕事、家事などの日常生活に著しい支障がある。



上記の4項目のすべてが当てはまり、12か月以上続く場合に「ゲーム障害」と診断されます。ただし、この4つの症状がすべてが当てはまり、しかも重症である場合には、継続時間が12か月よりも短くてもゲーム障害と診断されることがあります。特に、小学生では短期間で重症化しやすい傾向がみられます。

いかがでしょうか？大人であっても楽しいことには夢中になりますので、気持ちは分からないでもありません。しかし、これが依存症になってしまい、もうやめられなくなり禁断症状まで出てきたとしたら…娯楽のために与えたものが、成長過程の身体に大きく影響することになってしまいます。

きちんとルールを決めているご家庭では心配ないと思いますが、先日行った携帯電話等のアンケートでも「家庭でルールを決めているが守れない」子どもも少なくありませんでした。今一度お子さんのゲーム機、パソコン、スマホ等の利用状況を確認していただいて、健全なゲーム機やメディア機器の活用ができるようにさせてあげてください。